



【令和5年度補正予算（案）990百万円】

GOSATシリーズによる温室効果ガス観測データの品質向上のための検証観測の強化等を目指します。

1. 事業目的

地球全大気中の温室効果ガス濃度の状況を継続して把握する体制を強化するため、GOSATシリーズの3号機となるGOSAT-GW衛星を令和6年度に打ち上げることを目指している。当該衛星による観測データの精度の向上をするため、観測装置開発と機体への搭載のための改修整備を進捗させ、航空機による観測体制の早期充実等を図る。

2. 事業内容

➤ GOSATシリーズによる観測データの精度の向上をするためには、航空機等からのサンプリングによる実測データを用いた検証を図ることが重要である。このため、観測装置開発・製造、機体改修、機体への搭載を進め、航空機観測体制の早期充実を図るべく、以下の措置を講ずる。

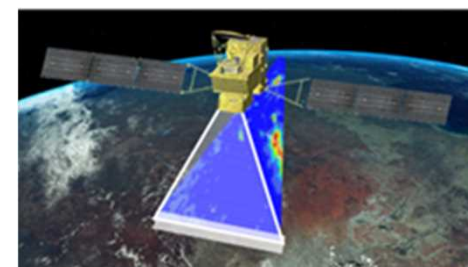
- ① 二酸化炭素連続測定装置(CME) 2台及び自動大気サンプリング装置(ASE) 3台の製造
 - ② 観測装置搭載のための機体改修、耐空適合性試験の実施
 - ③ 機体にCME及びASEを装着
- GOSATシリーズデータの更なる利用促進、新たなデータ利用者の開拓を目指し、日本発の衛星データプラットフォームへの提供を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業、請負事業
- 委託・請負先 民間事業者・団体等
- 実施期間 令和5年度

4. 事業イメージ

- ・ GOSAT-GWは令和6年度の打上げを目指している。
- ・ GOSATシリーズの観測で得られた濃度データの比較・検証を通じた精度向上には、航空機による観測データが不可欠。



GOSAT-GW衛星観測イメージ

過去の航空機観測に使用した機材（イメージ）



ASE
自動大気採取装置



CME
CO₂濃度連続測定装置

- ・ 機体改修を経て、観測装置を機体に搭載。
- ・ 二酸化炭素連続測定装置(CME)及び自動大気サンプリング装置(ASE)により、航空機の運航時に、世界各地の測定データを自動収集。

<写真出典> 国立環境研究所